

別紙

I. 事業評価総括表（令和 2 年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鍋山交流センター和室床改修工事	雲南市	1,771,000	1,771,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和 2 年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鍋山交流センター和室床改修工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町乙加宮				
交付金事業の概要		<p>雲南市鍋山交流センターは昭和60年9月に建設されました。地域住民の活動拠点である鍋山交流センターでは、放課後子ども教室や地域福祉・生涯学習活動、各種団体の会議など子どもから高齢者まであらゆる世代が利用している状況です。鍋山交流センターを利用する方の多くは和室を使用され、施設利用全体の約3割にのびります。</p> <p>その一方で、和室内の畳は老朽化し、利用者が気持ちよく活動することを妨げており、ひいては利用者離れにつながる恐れがあります。また、長時間に渡る会議等の場面では、高齢者の身体に負担が掛かり充実した会議内容が得られない可能性があります。そこで、老朽化した畳をフローリングとし、会議机及び会議椅子を設置できる環境とすることで、地域住民が安心して利用でき、利用者増加や市民が主役のまちづくりの進展が期待されます。</p> <p>具体的な事業内容としては、老朽化した既存畳の撤去と、床フローリング（58㎡）の設置です。</p>				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅰ みんなで築くまち《協働・行政運営》</p> <p>施策01 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>方針:交流センターを計画的に整備し、活用していきます。</p> <p>空き家等の地域資源を活用した活動の場づくりを推進します。</p>				
事業開始年度		令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度
事業期間の設定理由						

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 3 年度		
	交流センターが活動しやすい拠点となっていると感じる市民の割合（三刀屋地域） 62.0%	市民アンケートにおいて「交流センターが活動しやすい拠点となっていると感じる市民の割合（三刀屋地域）」についての項目に、感じる、やや感じると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	62		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和 2 年度		
	鍋山交流センター和室の畳からフローリングへの張替面積		活動実績	m ²	58		
			活動見込	m ²	58		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和 2 年度				備考	
総事業費		1,771,000					
交付金充当額		1,771,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		1,771,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
施設床張替工事		指名競争入札		有限会社伊達建設（雲南市）		1,771,000	
		計				1,771,000	
交付金事業の担当課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					